

2018年電波伝搬実験概要

de JA1RIZ

今年の移動各局は、1、7、φからの地域から参加していただきました。実質の移動ポイント7ヶ所・9局の参加になりました。

運用開始時間からしばらくしてEsによる混信・ノイズの影響を強く受けたポイントもあった様ですが、全般的には昨年より良い状態ではなかったかと思います。

天候は、各地とも晴れて良い状態であったとのこと。

コントロール局をはじめ各局たいへんお疲れ様でした。

(1) 各局の位置関係

移動の各局の位置関係は、資料②-2 2018年電波伝搬実験交信結果表 の位置関係エリア図の通りです。

JA1RIZ/7局が最も北及び東の地点であり、JA1FYQ/1局が最南端、JR2CTR/φ局が最西端に位置していました。後の、各局はこのアングル内に入っていたこととなります。JA1FYQ局/千葉鴨川市は緯度では富士山より南になっているので、意外！に思われることでしょう。

(2) 最長交信距離

最も遠距離交信だったのは、両局ともモバイルアンテナ設備の交信としては、JE1VGJ/1（東京都・梅野木峠） ⇔ JJ1SXA/1（栃木県・ハタマウンテン塩原駐車場）でした。RS=52~51で交信成立しました。伝搬距離 137.06 Km でした。[単純見通し距離 = $4.12(\sqrt{637} + \sqrt{1239}) = 249.0\text{km}$]

最も遠距離に位置した JR2CTR/φ ⇔ JA1RIZ/7(296.45km) は交信できませんでした。

今回は、最長伝搬距離の200 km 台がでなかったのは、各局のロケーション及び伝搬路(伝搬途中の山岳遮へい等)による影響が大きかったためではないかと考えられます。

(3)最多ポイント交信

5P/JA1VWB/1、JM1LZT/1、4P/JE1VGJ/1、JA1FYQ/1、JJ1SXA/1

コントロール局は、さすがに全部の7ポイントをカバーしましたがJA1RIZ/7のモバイルアンテナでの交信は厳しかったようです。昨年同様に位置的にも良い場所であったことを示していると思います。

(4)運用の反省等

① 実験タイム後半はEsの影響もありSUBの50.440にQSYしましたが、おおむね統制は取れていたと思います。(一部には240からのQSYの同期がとれていなかったようなケースがあったとか?)

② その他

今回は9エリア各局との連絡がうまく取れなかったことも影響して、移動エリアと移動ポイントが少なかったと思います。来年はもっと参加エリア、参加局が多くなって欲しいものです。

最後に、移動の各局及びその他参加しレポート送付頂きました各局、メインコントロール局、サブコントロール局などご協力頂いた各局に感謝申し上げます。

(実験結果は、別紙ご参照下さい。) 2018/JUN/30

以 上